

2017年7月28日

日本メジフィジックス株式会社

PET ラボ「北陸ラボ」着工のお知らせ ～富山県小矢部市で2019年春稼働を目指す～

日本メジフィジックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：下田尚志、以下「当社」）は、PET 検査（ポジトロン断層撮影）^{注1}）に用いられる放射性医薬品の新たな製造拠点として、昨年12月に富山県小矢部市に「北陸ラボ」の開設を決定し、この度2017年8月1日に着工の運びとなりましたので、お知らせいたします。

当該 PET 検査用放射性医薬品「FDG スキャン[®]注」（一般名：フルデオキシグルコース（¹⁸F））は、含まれている放射性同位元素（¹⁸F）の半減期が約2時間と非常に短いことから、製造から使用までの時間を極力短縮する必要があります。このため当社は PET 検査用放射性医薬品の製造拠点（PET ラボ）をこれまでに全国10か所^{注2}）開設し、2005年から各地域の医療機関に供給して参りました。

北陸地域においては、現在、当社の愛知ラボおよび京都ラボから長距離輸送で配送を行っていますが、北陸地域での安定供給体制を強化するため、昨年12月に北陸ラボの追加開設を決定し、建設準備を進めてまいりました。北陸ラボの概要は以下のとおりです。

名称	：	日本メジフィジックス株式会社 北陸ラボ
開設地	：	富山県小矢部市 （小矢部フロンティアパーク内）
規模	：	建築面積 約 1,000 m ² 延床面積 約 2,000 m ²
竣工時期	：	2018年3月（予定）
出荷開始	：	2019年4月（予定）
総投資額	：	約 23 億円

当社は、新たな製造拠点の開設により、従来にも増して医療機関のニーズに応えるとともに、PET 検査を必要とされているより多くの患者さんのために貢献したいと考えています。

放射性医薬品を用いた核医学検査は、脳卒中、認知症、心臓病ならびに悪性腫瘍など幅広い疾病の診断に有用とされています。当社は、住友化学株式会社と GE ヘルスケア（英国）の合弁企業で、放射性医薬品のトップメーカーとして、高品質な製剤の開発、製造、供給に取り組んでまいりました。今後も医療のさらなる発展のために貢献を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社（URL: <http://www.nmp.co.jp>）

総務部（広報担当）	兵庫県尼崎市潮江 1-2-6	電話 06-4300-5541	Fax 06-6492-2549
本 社	東京都江東区新砂 3-4-10	電話 03-5634-7006	Fax 03-5634-5170

注1

放射線を放出する微量の薬剤を患者さんに注射し、薬剤が病気の患部に集まる様子を体外から撮影することにより、病気の状態を診断する画像検査法の一つです。悪性腫瘍等の診断に有用とされており、全国約400施設の医療機関で診断が行われています。

注2

既存のPETラボ開設地は以下の通りです。

北海道札幌市、岩手県北上市、群馬県藤岡市、東京都江東区、神奈川県小田原市、
愛知県豊田市、京都府八幡市、兵庫県神戸市、岡山県岡山市、福岡県久留米市

以上